

# ムギ類赤かび病情報第1号

平成31年 4月 3日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 出穂期以降の気象に注意しましょう

**ムギ類赤かび病における感染予防のための防除適期は、開花期（出穂5～10日後）です。**ほ場ごとの生育状況に注意し、表を参考にしながら適期防除に努めましょう。

名古屋地方気象台3月28日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。出穂期以降に曇天・小雨が続き、温度が高くなるなど、多発条件となった場合には、1回目（開花期）の防除から約7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	散布	11
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
	ベフラン液剤12.5	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	ベフラン液剤25				
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回		3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内		3
無人航空機・無人ヘリコプター用					
作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機 による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内		3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回		3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人ヘリコプター による散布	3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内		3

FRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

1：MBC殺菌剤 3：DMI殺菌剤 11：QoI殺菌剤 M7：ヒスガアゼン

FRACコードの詳細は、[http://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code\\_pdf01.pdf](http://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code_pdf01.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。